



福山市立城西中学校

校長だより

2025年(令和7年)12月3日



和風月名 (わふうげつめい)

旧暦では、和風月名(わふうげつめい)と呼ばれる月の和風の呼び名を使用していました。和風月名は旧暦の季節や行事に合わせたもので、現在の暦でも使用されることがあります。現在の季節感とは1~2ヶ月ほどのずれがあります。和風月名の由来については諸説ありますが、代表的なものを紹介します。

1月	睦 月	むつき	正月に親類一同が集まる、睦び(親しくする)の月
2月	如 月	きさらぎ	衣更着(きさらぎ)とも言う まだ寒さが残っていて、衣を重ね着する(更に着る)月
3月	弥 生	やよい	木草弥生い茂る(きくさいやおいしげる、草木が生い茂る)月
4月	卯 月	うづき	卯の花の月
5月	皐 月	さつき	早月(さつき)とも言う 早苗(さなえ)を植える月
6月	水無月	みなづき みなつき	水の月(「無」は「の」を意味する) 田に水を引く月の意と言われる
7月	文 月	ふみづき ふづき	稻の穂が実る月 (穂含月:ほふみづき)
8月	葉 月	はづき はつき	木々の葉落ち月 (はおちづき)
9月	長 月	ながづき ながづき	夜長月 (よながづき)
10月	神無月	かんなづき	神の月(「無」は「の」を意味する)の意味 全国の神々が出雲大社に集まり、各地の神々が留守になる月 という説などもある
11月	霜 月	しもづき	霜の降る月
12月	師 走	しわす	師匠といえども趨走(すうそう、走り回る)する月

国立国会図書館 HP より

Be quick, but don't hurry. 機敏であれ しかし慌ててはいけない